

【雑学知識】

本当に本当！ 高校野球のプチ情報

今回は、高校野球にまつわる雑学をクイズ形式でいくつか紹介します。

- Q 1. 夏の甲子園大会の予選。例年、北海道や沖縄が6月には開幕しますが、過去に最も早く開幕した地方大会は何月だったでしょう？
A. 3月 B. 4月 C. 5月
- Q 2. 今では盛大に開催される夏の甲子園大会も初期のころはのんびりとしたところもありました。次のうち実際に行われていたのは？
A. 試合中のお茶休憩 B. 大会委員の紅白戦 C. カラオケ大会
- Q 3. 夏の甲子園大会には、厳しい予選を勝ち抜いたチームだけが出場できますが、これまで最も少ない試合数で出場権を得たのは？
A. 2試合 B. 1試合 C. 0試合
- Q 4. 春のセンバツ大会。過去には優秀な選手を表彰する個人賞がありました。次のうち戦前の大会で実際にあったのは？
A. ファインプレー賞 B. フェアプレー賞 C. 突撃賞

こたえ

Q 1. 3月。

1915(大正4)年の第1回大会の関東地区大会は、本大会までの準備期間が短かったなどの理由で、3月に開催されていた東京大会を予選と位置づけ、優勝校の早稲田実業が代表となりました。

Q 2. 大会委員の紅白戦。

1915(大正4)年の第1回から翌年の第2回まで夏の大会の決勝戦の前に大会委員が紅・白に分かれて試合を行っていました。

Q 3. 0試合。

1925(大正14)年の第11回大会、満州予選に参加したのは、大連商業だけでした。そのため大連商業は推薦で満州代表となり、予選で1度も試合をすることなく本大会に出場しました。

Q 4. ファインプレー賞。

1925(大正14)年の第2回大会から個人賞が設けられました。最初のファインプレー賞は中川武行(松山商業)と小畑秀雄(鹿児島一中)のふたりでした。

(文責・広瀬)